

政策評価調書(26年度実績)

政策名	交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進	政策コード	Ⅲ-4	関係部局名	土木建築部、企画振興部
-----	-----------------------	-------	-----	-------	-------------

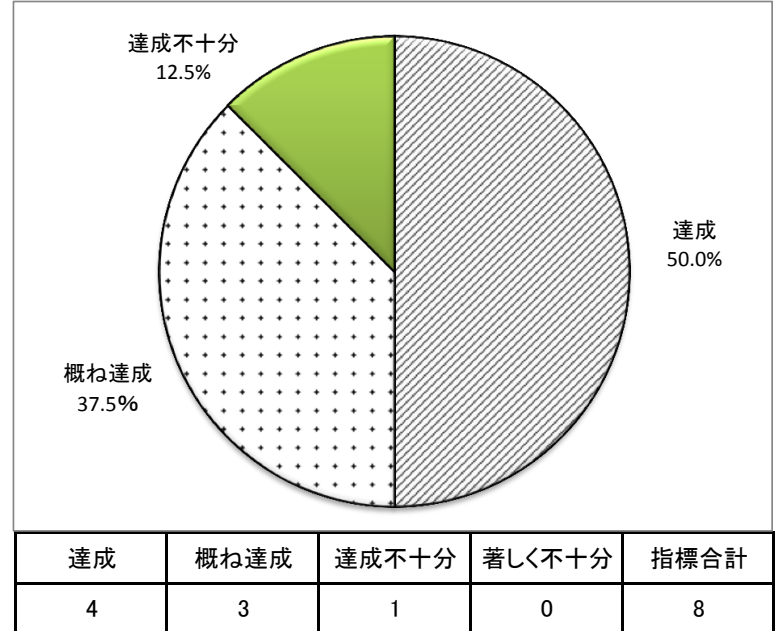
【Ⅰ. 政策の概要】

産業競争力の基盤となり災害時の緊急輸送路ともなる東九州自動車道をはじめとする広域交通網の整備促進や、地域の生活を支える道づくりの推進、地域公共交通の維持・充実などを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	広域交通網の整備推進	概ね達成	B
2	地域生活交通システムの形成	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県は九州と本州・四国との間を結ぶフェリー航路の約8割が発着するなど、他県と比べて優位性が高く、九州の東の玄関口としてのポテンシャルを備えていることから、一層の拠点化を推進するため、26年度に開通した東九州自動車道を補完する中九州横断道路や中津日田道路などの地域高規格道路等の整備を促進する必要がある。

航空輸送におけるLCCの台頭の流れを的確に捉え、国内外のLCCの誘致に取り組んだことにより、定期便の新規就航や、若者を中心とした旅行者需要の掘り起こし等を通じて大分空港の利用者が増加している。また、減少したフェリー利用者は、県の補助金を活用した取組により回復傾向にある。今後、人の流れをさらに活発化させるためには、フェリー、バス、航空、鉄道など県内各地と県外とを結ぶ交通機関の結節を強化し、交通ネットワークを充実させることが必要である。

九州新幹線をはじめ全国的に新幹線網の整備が進められているが、東九州新幹線については、昭和48年の基本計画決定以降の進捗がみられないことから、まず、関係者間で議論し地元の機運を醸成することが必要である。

都市部における交通渋滞の解消や公共交通の利用促進、通学路の交通安全対策が引き続き課題となっているほか、生活道路を中心とした小規模な改築の住民要望も多い。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—